

## IV 蚕糸に関する情報業務

### 1 国内蚕糸絹業調査

#### (1) 全国絹織物生産高調査

絹織物製造業者の生糸消費及び絹織物の生産動向を把握するため、全国の絹織物産地における①生糸類（生糸、玉糸、野蚕糸、手紡絹糸、絹紡糸、柞紡糸）の用途別消費高、②品種別絹織物生産高等について調査した。

#### (2) 絹縫糸業調査

縫糸用生糸消費高及び品目別縫糸生産高等について調査した。

#### (3) 輸入絹二次製品流通実態調査

輸入絹製品（洋装重中衣料、下着類、洋装雑貨、和装類、和装小物）の輸入動向と流通実態を把握すると共に、国内産絹製品への影響を明らかにするため、(株)繊維市場研究社に委託し、絹織物輸入商社、問屋、アパレルメーカー、百貨店等を対象にその実態について調査した。

#### (4) シルクパウダー・シルク水溶液業界実態調査

シルクの新たな用途であるシルクパウダー及びシルク水溶液について、生産や需要の動向を把握するため、(株)繊維市場研究社に委託し、製造業者、輸入業者、問屋及び大手ユーザーを対象にその実態について調査した。

### 2 海外蚕糸絹業調査

海外の絹需給を的確に把握するため、海外各国の蚕糸絹業について可能な限りの資料、情報等の入手に努めた。

また、16年度は、インド、タイ、中国の蚕糸絹業事情について現地調査を実施した。

### 3 情報の提供

国内及び海外の蚕糸絹業に関する情報及び機構が行った調査の結果等について、関係業界に広く提供するため、「シルク情報」として毎月700部を発行し、16年度については「蚕糸絹業の基礎知識」及び「養蚕12月」を新たに掲載し、内容の充実を図った。

また、これらの情報を広く提供するため、シルク情報ホームページを運用し、関係機関29箇所のホームページへのリンクを設定することにより、利用者が幅広い情報を選択できるよう努めた。